

血のつながりよりも 「最後まで味方でいること」

第18回人権セミナー

12月9日(月)部落解放共闘熊本県民会議はくまもと県民交流館バレアにて、第18回人権セミナーを開催し、54名が参加しました。この人権セミナーは人権週間(12月4日～10日)にあわせて毎年開催されています。冒頭、部落解放共闘熊本県民会議の友田議長のあいさつの後、宮津航一さんが



真剣に聞き入る参加者

「いのちと人権を考える」と題して講演をおこないました。宮津さんは現在大学3年生で、3歳のときに慈恵病院に開設された「こうのとりのゆりかご」に開設初日に預けられました。宮津さんは「家族」とは血がつながっているということではなくて、何があっても「最後まで味方」でいること」と熱く語



心があたまるお話でした



宮津航一さん

りました。最後に松永副議長のあいさつでセミナーは閉会となり、参加者からは「初めて当事者の話を聞き深く考えさせられました」「育ての両親の存在の大きさと実の親を誇りうる気持ち、家族のあり方に感動しました」との声が聞かれました。

弱い立場の人々に寄り添い 前向きに生きられるよう支援する

ライフサポートセンターくまもと 第16回総会

ライフサポートセンターくまもとは、12月25日(水)に第16回総会を開催しました。当センターは「勤労者の暮らしに関する不安を解消するため、暮らし全般に関わる支援活動を行うことにより、勤労者の生活の安定と福祉の向上を目的」として2009年に開設され、日々の相談にあたっています。

総会は、園田理事による開会で始まり、サービス連合の飯沼代議員が議長に選出されました。山本センター長が



挨拶を行う山本センター長

「県内には労働組合のない職場が少なくなく、驚をもつる思いで相談に来られる方がほとんど。地道な活動ではあるが、関

係組織とも連携しながら、2人の相談員を核に相談者にしっかり寄り添った対応を進めてまいりたい。」と主催者挨拶。御来賓からの挨拶のあと、徳富事務局長から、2024年度は79件の相談が寄せられ、そのうちハラスメント関係が最も多く22%、次いで賃金関係と、雇用関係が15%、退職・再雇用関係が8%となり、労働相談が大半を占めたこと、「全国一斉集中労働相談ホットライン」に対応し3回の相談会を開催したことなどの活動状況の報告と、会計報告が説明されました。また、電話でのアドバイスだけでは解決できない案件が多く、相談後は支援熊本ユニオンに加盟し、団体交渉などで対応するケースが増えていることについても報告されました。

議案では、2025年度の活動方針案、

予算案、役員体制案が提案され満場一致で承認されました。

2025年度 ライフサポートセンターくまもと相談員・役員体制

役 職	氏名(敬称略)	所 属
相 談 員	古澤 利光	ライフサポートセンターくまもと
	猿渡 和太	ライフサポートセンターくまもと
センター長	山本 寛	連合熊本
副センター長	石本 治行	熊本県労協協
	露出 奈美	連合熊本
事務局長	徳富 幸平	連合熊本
	矢野 良輔	連合熊本
理 事	木村 光伸	連合熊本
	峯 潔	熊本県労協協
	園田 海舟	熊本県労協協
	泉 秀明	連合熊本地協
	嶋田 重信	熊本県労協協
	齊藤 智洋	連合熊本
会計監査		

編集後記

「いのちと人権を考える」講演会は、優しい空気がいっぱいになりました。「こうのとりのゆりかご」に預けられたとき、ベッドに体育座りしていたという航一さん。里親の宮津さん夫婦と5人のお兄ちゃんには「一日一回は(航一さんを)抱っこする」約束があったそうで「僕が一番抱っこされているんですよ」と嬉しそうに振り返ります。私はその話を、自分のことに重ねました。大学ですぐ児童養護施設に勤めていた私は、親の温かみを知らない子どもが、泣いて訴えることにどうすることもできず、抱っこして一緒に泣くことしかできませんでした。でも「先生、よう泣きよったね。でも、嬉しかったよ」と。しかしその経験が、わが4人の子育てにいかせたのかどうかはわかりませんが。(Nami)

Topics

RENGO KUMAMOTO

2月の労働相談です

みんなの力で職場を改善しよう

連合全国一斉集中労働相談ホットライン

2025年2月13(木)～14(金)|10:00～18:00

0120-154-052

LINEで相談!

期間限定

2月13日(木)～14日(金)

10:00～15:00

(最終受付14:30)

今後の主なスケジュール

1月8日

連合熊本2025新春旗開き・賀詞交歓会

18日

連合熊本第1回青年委員会幹事会・学習会

20日

連合熊本第15回執行委員会第4回構成組織・地協代表者合同会議

25日

第4回地協議長・事務局長会議

2月3～28日

在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本的見直しを実現する日出生集会(大分県玖珠町)

4日

連合熊本2025春季生活闘争キャラバン行動

5日

労使共同セミナー

8日

連合熊本2025春季生活闘争開始宣言集会

連合熊本第1回中小地場共闘センター会議・学習会

RENGO KUMAMOTO

くらしをまもり、未来をつくる

連合熊本

3811情報

発行 日本労働組合総連合会 熊本県連合会

発行・編集人 山本 寛

〒862-0976

熊本市中央区九品寺1丁目17-9

☎(096)375-3811 FAX (096)375-3017

印刷所 株式会社 チューイン

2025年1月1日発行 No. 387

2025年 新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 熊本県連合会 会長 友田 孝行

新年明けまして おめでとうございます。ご家族の皆さまとともに健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃からの連合熊本の運動へのご理解とご協力に心より御礼を申し上げます。

さて、2024春季生活闘争では、全国で33年ぶりの5%台の賃上げ(熊本4.53%)が実現したものの、生活が向上したと実感している人は少数にとどまり、個人消費も低迷しています。このことは、物価高が「勤労者家計を圧迫してきたことに加えて、中小企業や適切な価格転嫁・適正取引が進んでいない産業などで働く多くの仲間にこの流れが十分に波及していないことも要因の一つであります。

2025闘争においては、実質賃金が継続的に上昇することで個人消費を拡大し、賃金と物価の好循環を実現していかなければなりません。そのカギの一つが、賃上げの広がり格差是正であり、もう一つが、適切な価格転嫁・適正取引の徹底、製品サービスと労働の価値を高め認め合う取引慣行の醸成であります。

「みんなでつくりよう!賃上げがあたりまえの社会」のスローガンのもとに、労使でしっかりと協議し、すべての人の生活向上をめざし、ともに頑張ります。

また、今夏には第27回参議院議員選挙が施行されます。比例代表においては、構成組織擁立の候補予定者の必勝に向けた取り組みが、精力的に進められているところです。熊本選挙区の推薦候補者を決定したのちには、比例・選挙区との連動した取り組みを展開していきたいと思います。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、組織一丸となって力を尽くして参りましょう。

そして、今年は第二次世界大戦の終結から80年の節目を迎えます。ロシアによるウクライナ侵攻、中東やミャンマー情勢など、依然として各地で平和や人権が脅かされています。私たちは、平和4行動や連合熊本ピースアクションにおいて、戦争の実相や平和の尊さを将来への継承を進め、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けてた取り組みに、引き続き結果して参りましょう。

結びに、2025年の干支は「乙己(きのと・み)」です。「これまでの努力や準備が実を結びはじめ、勢いを増していく」と言われており、「成長」や「変革」の年になりそうです。本年が皆さんにとって、輝かしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年のあいさつとします。

2025年 新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 会長 芳野 友子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

今年は戦後80年です。先の大戦を経験された方々は少なくなり、その実相を伝える役割は次の世代へと移っています。私たちが果たすべき役割をいま一度見つめなおし、行動に結びつける一年にしましょう。

近年の賃上げの成果により、「賃金は上がる」という新たな社会的規範ができつつあります。動き始めた賃金や物価を「巡航軌道」に乗せ、再び停滞させることのないように、2025春季生活闘争を精一杯、取り組んで参ります。

また、連合ジェンダー平等推進計画はフェーズ2に移行しました。世界は男女同率での活動への参画が当たり前になっています。“203050”の目標達成に向けて、残り5年しかないという危機感を持ち、力を尽くして参ります。

労働組合の組織率の低下に対し、連合運動はその活動領域の幅を広げていくことが必要です。多様な方々や団体と積極的に対話と連帯を進めて、労働組合の価値を高め、多くの仲間が集い、互いに協力し、より良い職場や社会をつくることに努力する一年にして参りましょう。

本年も皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。

参画しやすい「仲間づくり」を意識した活動を

第35回青年委員会総会

12月7日(土)に熊本県労働者福祉会館にて、青年委員会学習会と第35回総会を開催しました。最初に「SDGｓを自分ごとにしてよう」をテーマに、SDGｓ未来ラボ代表理事の阿部昭彦さんをお招きして、カードゲームをつかった学習会を行いました。阿部さんは「SDGｓ達成が目的ではなく、目標達成のために同じ方向を見て協力しあえる関係構築が大事」と述べ、参加者はゲームを楽しみながらも真剣に耳を傾けました。

総会は、森田代議員（電力総連）を議長に、西野委員長が1年間の総括をふまえてのあいさつ、続いて連合熊本友田会長にごあいさついただきました。2024年度活動報告、2025年度活動方針、役員体制を竹原事務局長が提案し、全ての議案は満場一致で承認されました。新旧役員あいさつのあと、中路新委員長による団結ガンパローで総会は終了しました。今年も一人でも多く青年委員会の活動に参画できるよう、意識して取り組んでいます。



ゲームに真剣な参加者



青年委員会総会参加者

ジェンダー平等推進の視点を取り入れた活動を

第35回女性委員会総会

女性委員会は、12月14日(土)、熊本県労働者福祉会館3F会議室において、第35回女性委員会総会を開催。乗富委員長は「すべてのシーンにおいてジェンダーの視点を取り入れ、多様性を認め合い、足元から『ジェンダー一支流化』を具現化していかなければならない。まずは、自身の単組において目標達成へ向けた取り組みと働きかけをお願いしたい」と力強い挨拶がありました。総会議長には井手上代議員（ＪＰ労組）を選出し、2024年度経過報告後、活動の強化、男女平等政策実現を目指す取り組み、青年委員会との連携などを柱とする2025年度活動方針、新役員体制が満場一致で承認されました。また、総会后「メイク＆パーソナルカラー講習」と題して学習会が開催され、M&B Beauty Union（情報労連）大岸講師・宮田講師からわかりやすい講義や実技指導などが行われ、楽しい雰囲気の中で時間をオーバーするほど、参加者からの質問が絶えない時間となりました。



新幹事のみなさん



参院選勝利に向けた取り組みを確認

第31回熊本県退職者連合定期総会

12月4日(水)九州労働金庫熊本駅前支店会議室にて、第31回熊本県退職者連合定期総会を開催し、76名が参加しました。谷川副会長の司会で開会し、議長団に岸田代議員（NTT労組退職者の会）、鍛先代議員（ＪＰ労組退職者の会）を選出しました。

冒頭米岡会長は「第50回衆議院選挙では自民党は議席を大きく減らし、政権与党の過半数割れとなった。また、高齢化社会の進展により、高齢者は厳しい生活を余儀なくされている」と挨拶しました。続いて、連合熊本の山本寛事務局長をはじめ、福祉事業団体、政党からの挨拶がありました。

続いて、猪塚事務局長より2023年度経過報告および会計監査報告がおこなわれた後、2024年度活動計画および予算について提案、その中で「ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、世界各地で平和が脅かされている。来年は戦後80年の節目の年であることから、平和を希求する取り組みが重要となる。来夏の参議院議員選挙では、組織の総力を結集し取り組みたい」と述べ、満場一致で承認されました。その後、スローガンを全体で確認しました。最後に、河瀬副会長より閉会の挨拶、米岡会長の団結ガンパローで総会を終了しました。

2025年度青年委員会役員体制			
役職名	氏名(敬称略)	所属組織名	
委員長	中路 盛智	JP労組	新任
	本田 一樹	自動車総連	新任
	永井 秀隆	UAゼンセン	再任
副委員長	徳本 佳大	JAM	新任
	竹原 信吾	電機連合	再任
事務局長	藤井 治	全労金	再任
副事務局長	石井 孝	自治労	新任
	本田 尊音	情報労連	再任
幹事	福田慎之介	電力総連	新任
	上田 真英	交通労連	再任
	高野 修平	国公連合	新任
	藤山 雅也	紙バ連合	新任
	焼谷 源	JR連合	再任

2025年度女性委員会幹事体制			
役職名	氏名(敬称略)	所属組織名	
委員長	乗富あずさ	自治労	再任
副委員長	和田 幸子	熊教組	再任
事務局長	大森 千晶	電力総連	新任
事務局次長	丸橋 百愛	電機連合	新任
幹事	池田 共美	自治労	再任
	嶋本 成美	自動車総連	新任
	大田黒紗代	JP労組	再任
	山川 寛華	UAゼンセン	再任
	豊原 舞	JR連合	新任
	山下 百合	運輸労連	新任
	原口菜穂子	熊本教育ユニオ	再任
	轟木 優実	全労金	新任

2024年度熊本県退職者連合 役員体制		
役職名	氏名(敬称略)	所属組織名
会長	米岡 新一	九電ユニオン友の会
	谷川 忠光	NTT労組退職者の会
	工藤 征子	熊本県退職者等連絡協議会
副会長	河瀬 和典	全日本自治体退職者の会
	猪塚 雄二	NTT労組退職者の会
事務局長	園田 礼二	熊本県高等学校退職者連絡協議会
副事務局長	山下 和美	JR九州労組退職者連絡会



団結ガンパロー

地域協議会総会報告

肥後有明地協

12月6日(金)玉名市ホテルしらさぎにて、第7回地協委員会を開催し、37人が出席しました。委員会議長に園田代議員（自治労山鹿市職連合）が選出され、冒頭馬場議長は「2024年を振り返り、次年度に向けての団結の呼びかけを」と述べ、特に山鹿市議会議員選挙の勢田組織内議員の勝利にむけた力強い挨拶がありました。その後、山本事務局長（連合熊本）・蔵原玉名市長・勢田山鹿市議など多数の御来賓からご祝辞を頂戴いたしました。

議事では、2024年度活動報告・決算報告、2025年度活動補強案・2025年度予算（案）並びに地協職員の退職金積立に関する新たな規程の制定、山鹿市議会議員選挙の勝利に向けた特別決議が満場一致で承認され、一致団結して取り組むことを確認し、最後に馬場議長の団結ガンパローで締めくくりました。その後の新旧役員慰労会では、多くの方が引継ぎも含め、懇親を深めることができました。



馬場議長による団結ガンパロー

天草宇城上益城地協

11月23日(土)御船町カルチャーセンターにて第6回地協委員会を開催し、46名が参加しました。議長団に松本久美代議員（自治労宇城）、塚原雅子代議員（情報労連九州日誠電気労組）を選出し、丸田議長から主催者代表の挨拶の後、連合熊本の友田会長、九州労働金庫宇土支店の石本支店長、地協推薦議員団団長の藤井慶峰宇土市議からご挨拶を賜りました。

報告として、「2024年度活動の振り返り」、「2024年度会計報告」を坂井事務局長が行い、「監査報告」を会計監査の横手監査が行い、満場一致で確認頂き、引き続き、1号議案「2025年度活動補強案」、第2号議案「2025年度予算案」、第3号議案「地協職員退職金規程の新設」について4号議案「2025年度役員交代について」を坂井事務局長から提議し、満場一致で承認されました。

次に退任役員の挨拶、新任役員の皆様からご挨拶を頂き、最後に丸田議長による団結ガンパローで集会を終了しました。



2025年度新旧役員のみなさん

菊阿地協

12月7日(土)菊池市旭志公民館において、第10回菊池阿蘇地域協議会地協委員会を開催しました。古市副議長の進行により、議長団に岩下（自治労阿蘇）・田中（コム連合）両代議員を選出し、委員会は開会しました。松村議長の挨拶後、連合熊本友田会長、鎌田立憲民主党県連代表、今泉社民党県連代表、佐藤阿蘇市長から挨拶を頂きました。続いて推薦議員団を代表して、来年改選を迎える佐藤大津町議ならびに坂田南阿蘇村議、事業体を代表して峯九州労働金庫熊本県本部部長からの来賓挨拶、今回欠席の江頭菊池市長の祝辞を紹介し、経過報告・議事にいりました。

執行部原案通り、2024～2025年度運動方針補強案は可決、本年度より地協職員へ連合熊本事務職員退職金関連規程にならない、地協版退職金規程を新設することも追認されました。最後に新たな役員体制として、地協幹事・会計監査21名中9名が選出され承認をいただき、委員会を閉じました。



挨拶をする松村議長

人吉球磨地協

11月30日(土)中小企業大学校人吉校にて、第17回地協委員会を開催しました。吉村議長の主催者代表挨拶につき、連合熊本友田会長より、地協運動に対する激励のご挨拶を頂きました。来賓を代表して、立憲民主党県連合会鎌田代表、笹本副代表より衆議院議員選挙のお礼、福祉事業体を代表してユニオントラベル熊本堀内淳様よりご挨拶を頂いた後、2024年度活動報告、会計報告、会計監査報告の承認を得て、第1号議案2024～2025年度運動方針(補強案)、第2号議案2025年度予算(案)、第3号議案役員選出について審議を行いました。特に、組織強化拡大や地協推進活動の継続した取り組み、2025春闘勝利、来る参議院議員選挙勝利に向けた取り組みの強化を確認し満場一致で承認されました。

星原副議長（九州武蔵精密労組）の閉会挨拶の後、最後に吉村議長の団結ガンパローで締めくくりました。久川議長(高教組)によるスモーズな議事進行で予定通りに終了し、この後の懇親会には松岡人吉市長も参加され盛り上がりました。



吉村議長による団結ガンパロー

熊本地協

12月6日(金)熊本県労働者福祉会館にて、連合熊本地域協議会第18回地協委員会を開催しました。冒頭、柿田副議長（JP労組）の開会挨拶で始まり、委員会議長に尾崎代議員（電機連合）、資格審査・議事運営委員に増田代議員（サービス連合）、選挙管理委員に宮本代議員（全水道）、委員会書記に峯地職員を選出しました。執行部を代表して森田議長の挨拶のあと、連合熊本友田会長、野崎熊本市経済観光局産業部長から来賓挨拶をいただき、推薦議員団を代表して岩田県議、福祉事業体を代表して九州労働金庫熊本県本部峯部長より挨拶をいただきました。経過報告を泉事務局長が一括で行い確認され、続いて議事に移り、第1号議案から第4号議案までを提案、全ての議事が賛成多数で承認されました。新役員が一人ずつ挨拶を行い、中村副議長（電機連合）の閉会挨拶の後、森田議長の「団結ガンパロー」で委員会を終了しました。



2025年度役員のみなさん

県南地協

11月15日(金)八代ホワイトパレスにて、県南地協第6回地協委員会を開催し、各構成組織から代議員、ご来賓、地協役員49名が参加しました。

主催者を代表して、松崎議長が春闘や政治についてのべられ、特に来年の八代市長選挙、八代市議会議員選挙については、加盟組織をはじめ地協全体がどのように取り組むかについてご挨拶がありました。

続いて、多くのご来賓を代表して、連合熊本友田会長、立憲民主党熊本県総支部連合会 鎌田代表、国民民主党熊本県総支部連合会 大倉副代表、社会民主党熊本県連合 今泉代表、幸村県議会議員の5名から連帯のご挨拶を頂きました。

その後、2024年度活動報告、会計報告、2025年度活動方針（補強案）、予算（案）、地協役員の一部変更（案）の議案について満場一致で承認されました。最後に松崎議長による団結がんばろうで、第6回地協委員会を終了しました。



松崎議長による団結ガンパロー

みんななつくるう！賃上げがあたりまえの社会